

平成17年7月

Vol. 5

発行／名田島自治会連合会
編集／自治会総務部
印刷／**嶺**山口県農協印刷

田園

さななな名田島

自治会連合会が発足して三年目を迎えました。市内十六地区では、最後、十六番目の自治会連合会の結成となりましたが、当名田島地区は、この上空から見た写真でも分かるように、開作・干拓の村で、開拓者魂



(フロンティア・スピリッツ)を受け継ぐ、県下有数の穀倉地帯です。少子高齢化の進む中において、当地区に伝わる良き風習を活かし、助け合いながら、励まし合いながら、労(いたわ)り合いながら、住み良い郷土づくりでは、市内ナンバーワンとなりました。

サイレン吹鳴が復活

火の山から見た田園風景の中で一台のサイレンによって五月一日から「正午」を知らせる吹鳴が復活しました。

サイレン吹鳴実現の機会は、昨年十一月一日のまちづくりリレーミーティングにおいて、要望し、実現しました。

吹鳴要望の他、市道清掃に係る保険や防災対策、市道の新設、雇用の場の確保などを要望しました。リレーミーティング概要集は自治会連合会事務局に保存しています。

写真上は小郡上空から名田島の島方面を望む。写真下は名田島の昭和上空から。



火の山から見た南総合センター

災害時に備え

地域防災力を高めよう

「天災は忘れたころにやってくる。」という寺田寅彦の有名な言葉は、災害の恐ろしさと災害に対する日頃の備えの大切さを後の世代に伝える貴重な教訓で、警句ともいえる言葉です。特に最近では、忘れる間もなく、次々と日本列島に襲来する台風、世界各地で起こっている大型の地震、さらには、地震による津波。
 災害の被害を最小限に止めるには、日頃からの災害に対する備えが何よりも大切です。

自主防災組織の立ち上げ会議を開く

五月二十八日に消防分団や防犯対策協議会、社会福祉協

議会、青少協など関係団体長と集落代表等二十九名の委員の出席のもと、「名田島地区地域防災対策組織立ち上げ会議」を開きました。



6月3日の自主防災学習会

会議では、組織の名称、設置規約制定、防災計画の策定、学習会の開催などについて協議しました。
【協議結果】
 学習会の開催を除き、他の案件は、地域課題として、関係団体内や各集落内で、再検討し、田植え後、再度会議をもつこととしました。



5月28日の自主防災組織立ち上げ会議

隣保協同の精神で被害の軽減を図る

自主防災組織を設置する目的は、住民の隣保協同の精神に基づき自主的な防災活動を行うことにより、地震その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることです。

- この目的を達成するために次の事業を行います。
- ① 防災に関する知識の普及・啓発事業
 - ② 地震等の災害予防に役立つ地域の災害危険個所の把握
 - ③ 防災訓練の実施
 - ④ 地震等の発生時における情

山崎講師を迎え防災学習会を開く

六月三日（金）、地域防災組織立ち上げ会議の委員二十二人が出席し、「自主防災について」の学習会を開きました。講師に市総務課危機管理室

- ⑤ 防災資機材等の備蓄
 - ⑥ 他組織との連携
 - ⑦ その他自主防災組織が必要とする事項
- 報の収集、伝達、避難、出火防止及び初期消火、救出、救護、給食、給水等の応急対策

防災情報システムの確立

会長 大林基宏
 昨年度は、天候不順と相次ぐ台風の被害を受けた年でありました。
 幸いに今年の天候は非常に良く、吉報の年であるように期待しています。
 しかし、自然界の現象は、人間の期待に反する高潮を伴った台風、地震等を発生させることがあります。その被害の軽減のために、防災情報システムの確立等に努力する決意であります。

17年度名田島自治会予算 (単位:円)

科 目	本年度予算額	備 考
収入の部		
自治会費	515,000	480戸×1,000
補助金	1,000	7法人×5,000
雑収入	1,000	
前年度繰越金	523,974	
合 計	1,040,974	
支出の部		
会議	100,000	会議運営
負担金	23,000	市自治会
事務費	10,000	事務用品
備品費	200,000	パソコン、プリンター
交際費	20,000	慰霊祭、敬老会等寸志
交通費	20,000	国交防府、市連総会他
研修費	110,000	第2回ゴミ処理場視察
総務部会	100,000	自治会報、広報誌発行他
民生部会	170,000	地産地消視察、清掃活動他
土木部会	70,000	道路修理、清掃活動他
教育部会	50,000	防犯ブザー助成
防災対策費	150,000	推進委員会の設置
予備費	17,974	
合 計	1,040,974	

南部地区の自治会①

《陶地区自治会》

設立 平成6年
 組織 16地区集落自治会を代表する自治会長によって構成する委員会が運営する。
 活動 ①地区民運動会、ふれあい祭の開催 ②地区内の環境美化 ③道路の事情改善 ④自治会報の発行



新開作の虫祈禱

《鑄銭司地区自治会》

設立 平成11年
 組織 18自治組織委員と各種団体17委員によって構成する委員会が運営する。
 活動 ①地区民体育大会、ふるさと祭の推進 ②自治会報の発行 ③地域防災力活性化への取り組み

名田島自治会連合会役員

会長	大 林 基 宏
副会長	三 輪 正 明
会 計	末 富 長
監 事	佐 藤 治 勉
総務部会長 委 員	伊 藤 米 秋 浅 原 中 夫 田 松 永 村 充 河 村 昌 子 俊
民生部会長 委 員	山 西 武 彦 末 林 哲 郎 藤 石 長 政 津 川 純 一 富 輪 永 重 夫 三 福 国 栗 山 明 新 義 治 義
土木部会長 委 員	有 三 武 新 福 国 栗 山 義 栗 山 武 捷 藤 木 中 恒 村 恒 芳
教育部会長 委 員	内 宮 藤 木 中 恒 藤 木 中 恒 芳
出張所長	野 村 東 司
事務局員	志 賀 富 子

山崎室長は、名田島地区の山崎和之室長を迎え、自主防災とはどういうことか、自主防災組織とは、といったことについて、消防職員としての実体験を交えた講話をしてもらいました。

（島上）の住民でもあって、地域の地形等にも詳しく、質問にも大変分かりやすく答えていただきました。

「講話の概要」

①「自分たちの地区は、自分たちで守る」ということが自分の安全確保、次に家族、そ

②広範囲の災害の場合、公的な組織が全組織をあげて、名田島だけに早くかけつけることはできない。

③災害に際しては、先ず、自主防災の原点です。

**防災計画の策定
早い機会に連絡網を**

自主防災の周知は、集落ぐるみでの連絡網、避難場所の確認、避難場所の運営などについて、十三集落で充分協議して、詳細に検討し、地域の実情にあった情報をとりまとめなければなりません。

ご意見・ご要望がありましたら、自治会事務局まで、ご一報ください。

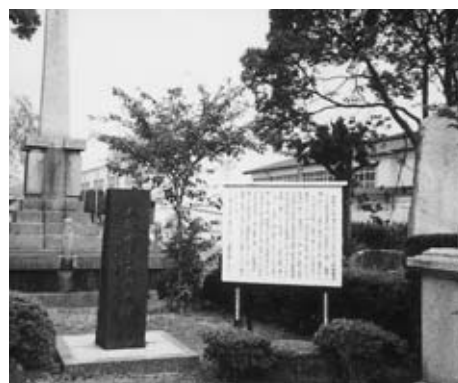
大風水害受難の碑

して隣近所、次に集落・地域の助け合いとなる。

④住民一人ひとりの安全確保

⑤防災訓練は年に一地区ごとに回しながら行う。

⑥地域の特性にあった班編成とする。



昨年を振り返って

報告・連絡・相談
副会長 三輪正明

自治会組織とは、その名の通り、自ら治める会組織であります。その活動は報告・相談が一番大事であり、そのためには、お互い連絡、相談が必要になります。名田島自治会もホウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）をしつかり食べてポパイのように元気になりたいものです。

分別研修の継続
副会長 松永君子

自治会での初めての視察研修で四箇所の施設を視察しましたが、ごみの分別について分らない事がありました。多くの方に現地で学べる分別研修を継続して欲しいです。

16年度決算	
○ 収入総額	868,004円
(会費515,000円)	
○ 支出総額	344,030円
(研修費 77,624円)	
(事業費 187,408円)	

部会の活動は今、 地産地消・環境保全など

民生部会

パイパス側道、榎野川河川敷の清掃を行いました。

今後は各自治会ごとにそれぞれの集落の清掃活動を合わせて行い、地域全体の環境美化に発展させていけるような仕組みづくりが必要であろうと思います。

民生部会の任務は自然環境並びに生活環境問題、食の安全、高齢者並びに乳幼児福祉若者の定住等多岐にわたって



下校中の名田島小の児童

おります。

本年度は、環境問題と地産地消を重点課題として取り組めます。

地産地消については、昨年度実施したアンケートの結果を再度分析し、諸課題について研修会を七月三日、名田島公民館で開催します。

教育部会

五月二十五日に防犯ブザー（ライト付き防犯・防犯アラーム）を名田島小学校に寄贈しました、寄贈個数は七十八個（全児童用六十八個、指導用十個）です。この事業は昨年度からの継続事業で、児童を犯罪の被害から守るため、また、児童の危機意識を高めるための一方策として実施しました。防犯ブザー（一個、五百七十円）の購入経費は、自治会連合会と地区社会福祉協議会とが負担しました。

教育部会では、今年度事業として、防犯対策、小学校校



防犯ブザーの交付式。子どもは地域の宝です

舎の改築促進、少子化対策、通学道路への横断歩道の設置要望を予定しています。このうち、少子化対策としては、学校、行政当局との対話集会を計画しています。

土木部会

六月六日に各集落から提出された要望事項を概略、次のようにまとめました。

- 〔市道関係〕 法面の擁壁設置（向山下）、補修（西開作下、新開作沖）、フェンスの設置（東開作）、市道認定（島上）
- 〔県道関係〕 歩道設置（島上、向山上）、拡幅（向山上）、



大極門の工事着々と

総務部会

重点事業は、自主防災組織の立ち上げ。その他、会報の発行が年二回、不定期刊行物の刊行が年二回程度を予定し

排水、側溝の清掃（東開作、島下）補修（向山上）〔河川関係〕土砂の取り除き（向山上）〔遺跡関係〕南蛮樋（新開作）〔橋関係〕改修（向山上）、拡幅（向山中）〔防犯関係〕防犯灯の管理〔交通関係〕魚釣り禁止、駐車禁止〔環境問題〕河川・堤防敷の環境保全〔防災関係〕情報伝達システムづくり、火の山大岩の安定度診断、谷川の護岸

ています。

自主防災組織の立ち上げに際しては、集落防災組織、集落内連絡網の設置・防災委員等の自主防災班の編成を早急に進め、自治会連合会本部組織の立ち上げは時間をかけ、必要に応じ、先進地視察を行う予定です。

編集後記

▼自然災害は、いつどこに襲いかかるかわかりません。ましてや当地区は干拓地だけに風水害や高潮への不安から逃れることはできません。万一の災害に備え、特に災害弱者の方を中心に避難態勢を整えることを急がなければなりません。その為の自主防災組織は滅災の命綱とも言えます。

▼麦の刈取り作業をしていると、キジの子供がコンバインの前に飛び出し走っていました。行く先は、親鳥の鳴く方。素早く麦の中に隠れました。

▼愛知万博に行ってきました。自治会は一人一役、みんなの協力を得て、近隣の和を広げていきたい。